

## 活動計画書

法人名	特定非営利活動法人 マナビダネ				
活動名	不登校の子どもたちの学びの土台をつくるフリースクール事業				
活動期間	令和6年6月17日 ~ 令和7年2月13日				
申請活動区分・分野	活動区分名	<input type="radio"/> SDGs推進活動助成	<input type="radio"/> 自立促進活動助成		
	分野名	<input type="radio"/> 人間	<input type="radio"/> 豊かさ	<input type="radio"/> 地球	<input type="radio"/> 平和
					<input type="radio"/> パートナーシップ

## 1. 申請する活動の目的

<200字程度> 申請する活動により解決を図る地域課題、社会課題

令和4年度に約30万人になった不登校の小中学生が使える「学校外の学び場が不足していること」が社会課題だと捉えています。

学びや勉強、人とのつながりが途切れる子どもの激増は、労働人口減少や8050問題といった社会問題に繋がるリスクになると考えています。

入間市では、高学年以上が対象の適応指導教室とオンラインの不登校支援はありますが、低学年を預かる通所施設はありません。

さらに、不登校の原因や学校復帰の妨げになる学業不振への対策は行われていません。

また当法人が必要だと考えている「体験を主とした学びの場」や保護者支援を行う公の支援がない状況です。

<200字程度> 上記の課題に対し、申請する活動が必要となる理由

「学校外の学び場が不足していること」の解消には、家庭の外に「安心な学び場」があることが対策となるため、まずは継続することを大事にします。

昨年度に問い合わせがあった家庭の半数は、小3以下の低学年の子だったことから、低学年の子が通える場所の必要性を示していると思います。

問い合わせ内容から、発達特性を持つ低学年の保護者への支援の必要性もみえました。

一方で、中学生向けの活動と、学び直しをしたり、発達特性に配慮した学び方ができる場も必要だと感じています。

## 2. 申請する活動の内容

<200字程度> 申請する活動の概要

自発的な学習意欲につながる興味や関心を育むことと、社会参加に必要な対人力を学ぶための体験と交流を行います。

火曜日・木曜日の活動は、体験を主とした活動を提供します。月曜日は、前半2時間はソーシャルスキルを育むことを意図した交流を行います。

後半3時間は勉強のやり直しをしたり、習慣づけのための時間にして、学習障害をもつ子や苦手観が強い子どもの支援方法も試行錯誤していきます。

また、心理士に訪問してもらい、子どもの指導のポイントの把握とサポート法を助言をもらい、適切な学び場の運営を行います。

**<200字程度>** 申請する活動の目的を達成するための実施体制、他団体等との連携

低学年の子や発達特性のある子が多いため、子ども3～4名に対して発達障害に理解があるスタッフ1人を配置します。

他団体との連携は、会場の無償利用を受けています。月曜日は入間市都市開発株式会社に、火・木曜日は、入間市子ども支援課の協力を得ています。

体験活動の実施のため、市内の染織工房、農家さん、入間市博物館等に協力を仰ぎ、あわせて地域内での活動周知もお願いしていきます。

毛呂山町の福島食品さんに、調理実習時の食品提供をしていただく予定です。

早稲田大学人間科学学術院 准教授・桂川泰典先生との連携を交渉中です。ゼミ生のボランティア参加や大学内での活動を予定しています。

**<200字程度>** 申請する活動の目的を達成するための助成金の活用方法

学校運営にかかる経理と同様に、人件費の割合が大きいです。、按分ができなかった通信運搬費や印刷費を除いているため人件費が82%になっています。

月曜事業の有料化により、参加者数が予想できない状況です。しかし、配慮が必要な子どもたちの学びの支援方法を確立し、数年後には学習障害等の支援を行える事業に育てていき、事業収入の柱にしたいと考えています。そのための試行錯誤期間は、助成金を活用させていただきたいです。

また、学校復帰をする子が多いことも運営の難しさになっているため、運営基盤ができるまでは支援を求めています。

### 3. 申請する活動の計画

**<200字程度>** 申請する活動の目的を達成するための事業計画

週2回の体験を主としたフリースクール事業を9:30～13:30で開催。対象は、小学1年生～高校3年生。

週1回の学習を主としたフリースクール(14:00～19:00)を開催。対象は、小学6年生～高校3年生。

上記の活動を適切に行うために、公認心理士の訪問を月に1度、実施する。火曜日・木曜日を5回、月曜日を1回の予定。

フリースクール事業は、祝日と長期休暇期間はお休みします。

#### 具体的な計画

活動の名称	実施時期	実施場所	活動の種類	活動の内容
勉強ができるフリースクール「いろいろダネ+」	6/17～毎週月曜日	豊岡プチ大学	イベント	前半は交流し、後半は学び直しの勉強を行います
学校外の学び場「いろいろダネ」	6/18～毎週火・木曜日	主に青少年活動センター	イベント	自然遊び・工作・実験・調理などの各種体験と交流を行います
公認心理士による活動訪問	6月下旬から2月15日	上記	その他	子どもたちの観察をしてもらい、指導ポイントを把握します

## 4. 申請する活動の効果

### <200字程度> 申請する活動の効果

「学校外の学び場」があることで、学びや人とのつながりを持てる人が増えます。学び場での体験や交流の中で、自分らしさを承認された子どもは、自己信頼を高めたり、困難なことに対処していく気力やしなやかさを身につけることが期待できます。元気になった子の多くは、身近な社会である学校にいく選択をしています。また、長期欠席者が学校に行けない理由の一つに、「勉強ができない」があるため、勉強に向かえる環境調整が社会参加の助けになると考えます。これらの変化は、子どもと保護者への聞き取りから把握する他、終了後に定量化したアンケートを実施し、数値で示すことを目指します。

### <200字程度> 申請する活動の効果を得るために、申請者の特徴や強みをどのように生かすか

発達臨床心理士であり、幼児教育に長年携わっている副代表の山下が主導となり、プログラムの構成を作成していきます。発達特性のある子の支援は、公認心理士と、東京都特別支援教育専門員である木村と山下とともに支援会議をもち、対策を考えていきます。その後、月に1~2回行うスタッフ会議で事例の共有と対策を検討します。学習支援は、特別支援教育士として子どもの支援経験のある元小学校教員や勉強指導のスタッフ達とともに子どもの支援法を探りつ、地域にいる知人の協力やSNSを活用して活動の周知を行っていきます。

### <各項目100字程度> SDGsの17の目標に対する活動の効果(最大3個まで記入可)

1	目標名	4 質の高い教育をみんなに	←17の選択肢から選択する
	効果	不登校になることでネガティブになっていた子どもたちに、体験や交流の場を提供することで、心身の成長や思考力向上を導いたり、「学ぶこと」や「社会参画」への自発的な意欲が育まれる等の効果が期待できます。	
2	目標名	8 働きがいも経済成長も	←17の選択肢から選択する
	効果	「社会的自立」を目指せばいいと伝えていくことで、学校に行けない自分、勉強できない自分を否定する気持ちが減ります。自己否定が減り、内発的な意欲を感じられるようになると、働くことをイメージし始める傾向がみられます。	
3	目標名	11 住み続けられるまちづくりを	←17の選択肢から選択する
	効果	子育て世帯が住みたくなる「子どもまんなか社会」の街づくりに参加することも法人理念となっているため、いろいろな地域の方に協力いただいています。これにより、当法人も地域の方にも相互に利となることを得られます。	

## 5. 活動の継続・発展について

### <200字程度> 活動を継続的に行うための課題、活動の継続性を高める方法、活動を発展させるための取組はどのようなものか

非営利活動の継続には、資金をどこから調達するのかという課題がつきものです。5年後には常設できる施設での開催を目標にしているため、その準備も必要です。経済格差が少なくなるよう受益者負担は最小限にしたいと考えています。そのため今年は、寄付金や助成金を活用しながら、団体収入の柱となる事業を作る取り組みを始めます。また、賛助会員や支援者を増やすために、活動の価値や意義を深掘りしながら、共感いただける広報活動をインターネットを活用したり、地域の方々に直に伝えていく努力を続けていきます。

## 活動収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 マナビダネ

活動名 不登校の子どもたちの学びの土台をつくるフリースクール事業

## 1.収入の部

1,711,340 円

項目	予算額(円)	積算・内訳等							
<b>a.助成金交付申請額</b>	<b>500,000</b>	※千円未満切り捨て							
<b>b.自己資金</b>	<b>95,340</b>								
	95,340	←自己資金のみ直接金額を入力する							
<b>c.活動実施による収入等</b>	<b>1,116,000</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
フリースクール参加費(火曜日・木曜日)	756,000	18,000	円	×	7	人	×	6	月
フリースクール参加費(チケット参加/延べ人数で計算)	180,000	3,000	円	×	1	回	×	60	人
フリースクール参加費(月曜日)	180,000	10,000	円	×	3	人	×	6	月
*8月の活動日のないところは抜いています	0			×			×		
	0			×			×		
<b>d.その他</b>	<b>0</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

## 2.支出の部

1,711,340 円

項目	予算額(円)	積算・内訳等							
<b>a.会場費</b>	<b>12,000</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
施設利用料(有料会場を利用した場合)	12,000	2,000	円	×	6	月	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

<b>b.通信運搬費</b>	<b>0</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
<b>c.旅費交通費</b>	<b>96,340</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
スタッフの電車代(西武新宿線下井草駅⇄西武新宿線入曾駅)	19,440	720	円	×	1	往復	×	27	回
月曜日の事業時での駐車場代 2人分	28,800	600	円	×	2	人	×	24	回
遠足等での交通費	12,000	1,000	円	×	4	人	×	3	日
火曜日・木曜日スタッフ1ガソリン代(活動センター⇄自宅)	15,900	15	キロ	×	20	円	×	53	回
火曜日・木曜日スタッフ2ガソリン代(活動センター⇄自宅)	10,600	10	キロ	×	20	円	×	53	回
月曜日のスタッフガソリン代(活動場所⇄自宅) 2人分	9,600	10	キロ	×	20	円	×	48	回
	0			×			×		
<b>d.消耗品費</b>	<b>53,000</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
プリンターインク(充填用)	5,000	5,000	円	×	1	回	×		
火曜日・木曜日の活動で使用する教材費	48,000	8,000	円	×	6	月	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
<b>e.備品費</b>	<b>0</b>	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

